

申請先：一般財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「BPM」製品 PF準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号：  ★APPLICで記載

※赤字部分は、V2.8からV2.9の変更箇所を示す。

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0002-2014  
 ・プラットフォーム通信標準仕様V2.3 ・アーキテクチャ標準仕様V2.2

(2) PF準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日):

(b) 申請区分(新規、修正、破棄):

(c) 申請者

団体名:  ★識別キー項目1  
 (識別キー項目3つで  
 ユニークになるように  
 申請者が指定する)

団体のURL:

APPLIC会員番号:

(d) 製品情報

製品説明のURL:  ★識別キー項目2  
 代表製品名:

複数製品で構成する場合追記:

複数製品で構成する場合追記:

複数製品で構成する場合追記:

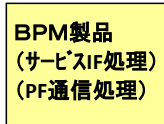
製品識別情報(バージョン等):  ★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦月日):

対応OS:

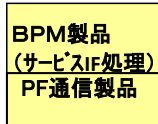
製品の形態((1)型から(3)型):

全て同一提供者  
(製品同一型)



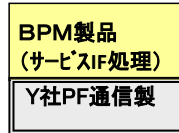
(1)型

全て同一提供者  
(製品分離型)



(2)型

Y社、Z社の製品を  
前提製品として申請



(3)型

前提となるPF通信製品  
 前提PF通信製品名:  ※1  
 前提PF通信製品名:  ※1

※1 (2)型、(3)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

(3)PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)

※: 下記の機能が実装された製品でなく、ソリューションによる提供場合、「前提事項や制限事項」の欄にそのことを記載すること  
 ◎: 対応、○: 制約のあるもの(制約がある場合は備考欄に記載する) ↓

番号	準拠ルール (番号( CS-RXXXX)は、サービス基盤標準書に記載のある関連準拠ルールの番号)	必須/ 選択	サイト内・外共通	
			製品・ システム 確認	APPLIC 確認欄
1	「PF通信(PF通信機能)」製品 PF準拠確認チェックリストにおける準拠ルールを満たす	必須	◎	○
1-1	HTTP通信(IPv4, HTTP1.1)を行えること (CS-R020001, CS-R020002)	必須	◎	
1-2	SOAP通信(SOAP1.1, document/literal, WS-インフラプロファイル1.0)を行えること (CS-R020003, CS-R020004)	必須	◎	
1-3	標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること (CS-R032001)	必須	◎	
1-4	標準仕様書で定義するサービスインタフェース定義に対応できること (CS-R032003)	必須	◎	
1-5	標準仕様書で定義するメッセージ交換パターンに対応できること (CS-R060001~CS-R060005, CS-R060006, CS-R060007, CS-R060009)	必須	◎	

【付録2.2】

地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト: 「サービス基盤」

2	プラットフォーム通信標準仕様第4章「プラットフォーム通信標準のビジネスプロセス制御定義仕様」における機能要件満たす。	必須	◎	○
2-1	BPM機能は、WS-BPELに準拠した以下の機能要件を満たすこと ・WS-BPEL V2.0に準拠していること (CS-R040001) ・サービス呼出し/Fに関するreceive、reply、invoke (CS-R040003) ・実行制御に関するsequence、flow、if、while (CS-R040004) (ただし、V1.0の場合は、linkがあるflowは対応できなくてもよい) ・throw (CS-R040005) ・変数処理に関するassign (CS-R040006) ・fault Handler (CS-R040007) ・コリレーションセット (CS-R040008) ・XMLの部分データを変数に割り当てるためのXpath 1.0 (CS-R040010)	必須	◎	
備考欄(前提事項や制限事項)				